

「第2次白鷹町環境基本計画（案）」に寄せられたご意見と町の考え方

白鷹町町民課

平成25年2月

「第2次白鷹町環境基本計画（案）」につきまして、平成25年2月5日から平成25年2月19日までの間パブリックコメントを実施したところ、1名の方からご意見をいただきましたので、そのご意見と町の考え方について、下記のようにまとめましたのでお知らせいたします。

貴重なご意見ありがとうございました。

NO	意見	町の考え方
1	<p>P32 町民一人あたりの年間二酸化炭素排出量の目標値が記載されていますが、白鷹町では全体の目標値は定めないのででしょうか。また、平成24年度比で、その値を10%削減していますが、1990年度比でも目標を定めた方がいいのではないのでしょうか。国や県では1990年度比で定めています。</p>	<p>年間二酸化炭素排出量は、その時の人口の違いを考慮し、町民一人あたりの値で定めています。</p> <p>また、国や県では、京都議定書に基づき1990年度比で目標を定めているようですが、経済状況の変化などから、本町では2010年度の時点で、1990年度比の年間二酸化炭素排出量は138%となっています。ここからさらにマイナスの値まで削減することになると、相当な削減努力が必要となり、大規模な風力発電設備やメガソーラー設備のない本町においては現実的な値ではないと考えました。</p> <p>国や県では、森林吸収源対策により大幅な二酸化炭素排出削減を見込んでいますが、規模の小さい本町では森林吸収源による削減増加がほとんど見込めないため、再生可能エネルギーの導入と省エネルギーの推進を主として、年間二酸化炭素排出量を削減していくこととなります。</p> <p>今回は同時に白鷹町エネルギー計画を策定しており、そちらにも力を入れていくということで2010年度比とさせていただきたいと考えております。</p>

2	<p>白鷹町全体の二酸化炭素排出量の目標値は、白鷹町エネルギー計画と結びついたものにした方がよいと思います。山形県の地球温暖化対策実行計画を見ると、エネルギー戦略と結びついたものになっています。具体的には、山形県ではCO2排出量は、2020年度までに1990年度比で20%削減とし、その削減量は382万t・CO2としていますが、そのうちの52万t（14%）は再生可能エネルギーの導入による削減と定めています。</p>	<p>ご意見を反映させていただき、年間二酸化炭素排出量の目標値は、白鷹町エネルギー計画の目標値を達成した場合の値とし、2010年度比約14%の削減とさせていただきます。</p> <p>NO1で回答したとおり、現時点の本町ではほとんど期待できない森林吸収源による削減量は含まないこととさせていただきます。</p>
3	<p>P32 一人あたりの電気使用量のみでなく、町全体の電気使用量、ガソリン、灯油、ガス等も環境指標に加えることはできないでしょうか。これらを数値で把握することによって、実際の二酸化炭素削減量が把握できます。</p> <p>また、地域活性化や経済の面からも、化石燃料を使用することで、町外へ出てしまうお金を把握できると思います。例えば、灯油を使用すると、その1割は町内のガソリンスタンドにお金が入りますが、9割は町外や国外へ出てしまうお金になっているようです。</p>	<p>電気使用量については、年間二酸化炭素排出量同様、その時の人口の違いを考慮し、町民一人あたりの値で定めています。</p> <p>ガソリン、灯油、ガス等については、データがなく、把握できませんでした。今後、把握できるものについては把握できるようにしていきたいと考えております。</p> <p>お金の動きについては、町民の方も関心の高い内容と思いますので、詳しい状況を把握できるように検討したいと考えております。</p>